

実技

文芸学部〈芸術学科舞台芸術専攻〉

令和八年度 文芸学部芸術学科 舞台芸術専攻

推薦入学試験実技問題

実施日…令和七年十二月七日

(a) 身体表現

1、身体表現と空間表現（一分）

身体を使い、多種多様な動きを、空間全体を使用しながら表現し、ポイント1からポイント2に移動してください。時間は一分とします。

2、表現力（一分）

一本の木が立っている、と仮定し、その木と、自らの身体との関係性を、感情や記憶、物語性といった要素を加味しながら表現してください。時間は一分とします。

令和八年度 文芸学部芸術学科 舞台芸術専攻
推薦入学試験実技問題

実施日…令和七年十二月七日

(b) 「言語表現」 朗読

その日、春休みに発表する学芸会の稽古で遅くなり、家に着いた時にはもう六時を過ぎていた。母はいなかった。お腹がペコペコだった。食堂のテーブルの上にサンドウィッチと、そして、お芝居の衣装を買いに行くから帰りは遅くなるかもしれない、と書いた母の伝言が置いてあった。電話のベルが鳴った。確か、二つ目のサンドウィッチを頬張った時だ。受話器をとると、少しなまりのある男の声が母はいないのかと尋ねた。いないと答えると、少しためらう間があつて、彼は警察のものだと、そこで初めて自らの身分を明かし、さらに、本当は坊やには直接話したくはないんだが、と前置きして、いいかい、落ち着いて聞くんだよ、実は坊やのおとうさんが…彼はゆつくりと、言葉を選びながら父の死を告げた。受話器を置くとぼくは食堂に戻り、残りのサンドウィッチを食べた。残らず食べた。とにかくお腹がすいていたんだ。翌日、ぼくは母と一緒に父が死んだという北国へと出かける。

竹内銃一郎『あたま山心中 散ル散ル、満チル』